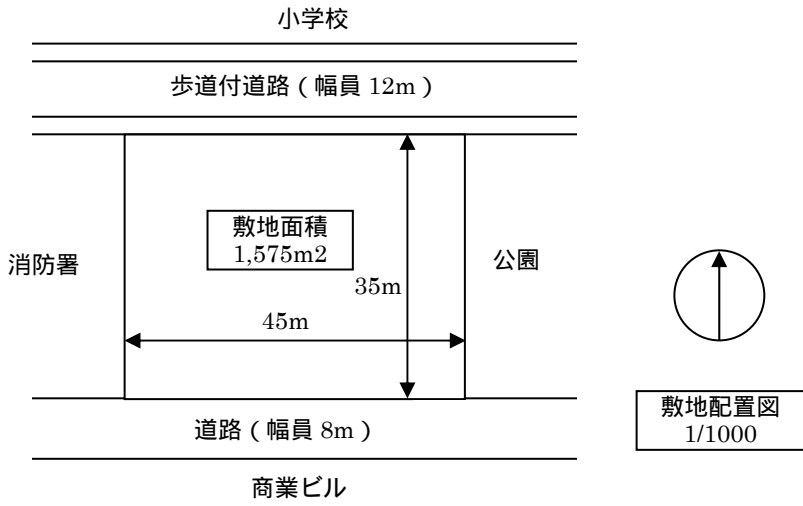


I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の市街地において、段床形式の小ホールのある図書館を計画するものである。地域の中心館として移動図書館の設備を併せ持つものとする。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- (2) 敷地は、平地で、道路との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所あたり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は80%、容積率の限度は400%である。
- (4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (5) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (6) 地下水及び積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



2. 建築物

- (1) 構造、階数等
地上2階建ての建物とし、構造形式は自由とする。
- (2) 床面積の合計
床面積の合計は、1,900m²以上、2,300m²以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。
- (3) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

室名	特記事項	床面積
エントランスホール	・施設案内カウンターを設ける。 ・風除室を設ける。 ・ロッカーコーナーを設ける。	適宜
図書室	・図書事務室との動線に配慮した位置にサービスカウンターを設ける。 ・閉架書庫、BM室との動線に配慮する。 ・ブラウジングコーナー、レファレンス、AVブース、一般閲覧室等を設ける。	500m ² 以上
児童図書室	・サービスカウンターを設ける。 ・便所、お話し室、児童閲覧室及びカーペットコーナーを設ける。	200m ² 以上
図書事務室	・図書室に隣接し、図書館関連業務を行う。	約50m ²
館長室	・図書事務室と同一階に設ける。	適宜
閉架書庫	・図書室及びBM室との動線に配慮する。	100m ² 以上
BM室	・BM駐車スペース(3.5m×6m)を設ける。 ・BM書庫、作業スペースを設ける。	約100m ²
小ホール	・1段の高さが0.3mの段床形式の固定座席(一人あたりの座席及び前面通路部分を含め0.5m×1.0mとし、100席以上)を設ける。 ・3x8mのステージを設け、最前列とのレベル差を0.5mとする。	約160m ²
セミナールーム	・2室分割できるよう可動間仕切りを設ける。 ・ホワイエから出入りする。	約80m ²
ホワイエ	・小ホール及びセミナールームから利用する。	適宜
事務室	・施設案内カウンターとの動線に配慮する。	約40m ²
湯沸室	・職員用に設ける。	適宜
更衣室	・男女各1室ずつ設ける。	
設備スペース	・各自が採用した設備計画に応じて、電気・機械室、室外機置場等を計画する。	
・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。		

※BM=移動図書館用のブックモビルの略号

3. その他の施設等

- (1) 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、施設利用者用1台分、サービス用として1台分以上を設ける。職員用は近隣駐車場を用いる。
- (2) 駐輪場は40台分(約0.5m×2.0m/台)を設ける。
- (3) 一般閲覧室に隣接して、季節のよい時の読書空間として、デッキスペース(面積適宜)を設ける。
- (4) ゴミ置き場を設ける。
- (5) (1)~(4)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

4. 計画に当たっての留意事項

- (1) 建築計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 敷地の周辺環境に配慮する。
 - ② 施設利用者動線と図書館職員動線が交差しないように適切にゾーニングした動線計画とする。
 - ③ バリアフリーに配慮する。
- (2) 構造計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
 - ② 構造種別、架構形式及びスパン割を適切に計画する。
 - ③ 部材の断面寸法を適切に計画する。
- (3) 設備計画については、次の点に留意して計画する。
 - ① 空調設備、給排水衛生設備、電気設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
 - ② 資料保管に配慮した設備計画とする。
 - ③ エレベーターを適切に設ける。

II. 要求図書

答案用紙Iの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Iに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図及び2階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)ロ.室名等 ハ.採用した構造種別、架構形式及びスパン割に応じて必要となる構造要素(凡例の空欄に記入し、図示する。)
(2)2階平面図 1/200	ニ.設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]の位置 ホ.設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。) ヘ.断面図の切断位置 ト.要求室の床面積 チ.図書室及び児童図書室の書架等のレイアウト リ.小ホールの座席及び座席数と段床のフロアからの高さ
(3)断面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口 ロ.駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ.駐輪場(台数を明示する。) ニ.通路、植栽等 ③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.1階の屋根、ひさし等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から避難階段の一に至る歩行距離及び経路
(4)梁伏図 1/200	① 切断位置は、小ホールの段床部分を含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4)梁伏図 1/200	① 2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ② 構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号、部材及び断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使用した場合の断面寸法は、H-○×○のように記入する。

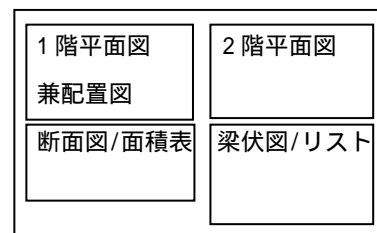
2. 面積表(答案用紙Iに記入)

- (1) 地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(添削対象外)

- (1) 建築計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 施設全体のゾーニング計画について工夫したこと
 - ② 図書室の開架書庫における収納冊子数の概算
 - ③ 書籍の紫外線焼けに対する対策として工夫したこと
- (2) 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
 - ② 小ホールの大梁及び小梁の架け方について、工夫したこと
- (3) 設備計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - ① 小ホールの空調計画において配慮したこと
 - ② 図書室の空調計画において配慮したこと
 - ③ 図書室の照明計画において配慮したこと

4. 図面レイアウト(本試験では解答用紙Iに記載)



試験場	受験番号	氏名
	□□-□□□□□□	